



# オラクルライセンスご利用時の留意点

2025年2月6日  
株式会社日立ソリューションズ  
クラウドソリューション本部 サービスビジネス部  
Ver1.0

# 改訂履歴

改訂番号	改訂日	改訂内容
Ver1.0	2025年2月6日	初版作成

## 目次

---

- 0. はじめに
- 1. オラクルライセンスの基本的な考え方
- 2. 使用権許諾先以外の第三者利用について
- 3. 仮想化環境での利用について
- 4. パブリッククラウドでの利用について
- 5. サービス・レベル（保守契約の有無）の統一
- 6. オラクルライセンスのインストールについて
- 7. 最新のオラクルライセンスの使用条件の確認について
- 8. お問い合わせ

平素より、オラクル製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

オラクル製品には、以下の特徴があり、ご利用に関する自由度が高い反面、多くの留意点があります。

また、オラクルライセンスを正しく利用することについて、お客様は契約上の義務を負っております。

- エンドユーザーが自由にダウンロード可能
- オラクル製品のご利用に際してライセンスキーが不要

本書は、お客様にオラクルライセンスを正しくご利用いただくためのご案内になりますが、オラクル社の最新のライセンスポリシーは、第7章「最新のオラクルライセンスの使用条件の確認について」をご参照ください。

なお、本書はご参考情報としてまとめており、提供される情報等の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もするものではありません。また、提供される情報等のご利用により万一何らかの損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いません。

# 1. オラクルライセンスの基本的な考え方

## (1) 使用権許諾先と異なる第三者（グループ会社含む）の利用

- オラクルライセンスを購入したお客様の内部業務目的でのみ利用している
- × グループ会社のための業務目的で利用している
- × 他社のための業務目的でサービス提供している

## (2) 仮想化環境での利用

- Soft Partitioningに分類される仮想化製品（VMware、Hyper-Vなど）を利用している場合、仮想環境が構成されている社内の全ての物理サーバのライセンスを保有している
- × 一部の仮想化製品、一部の仮想化環境、仮想マシンのみライセンスを保有している

## (3) パブリッククラウドでの利用

- 承認されたクラウド環境（AWS、Azure、GCP、OCI）で利用している または クラウド事業者が提供する仮想化環境ではない物理サーバで利用している
- × 承認されたクラウド環境以外で利用している

## (4) サービス・レベル（保守契約の有無）の統一

- 社内の全てのオラクルライセンスについて、サポート契約を全て締結している または 全て締結していないかで統一されている
- × 部門やシステム単位で同じ製品群のサポート契約の有無を締結を統一していない
- × A社から購入したライセンスはサポート契約を締結、B社から購入した同じ製品群でサポート契約を締結していない

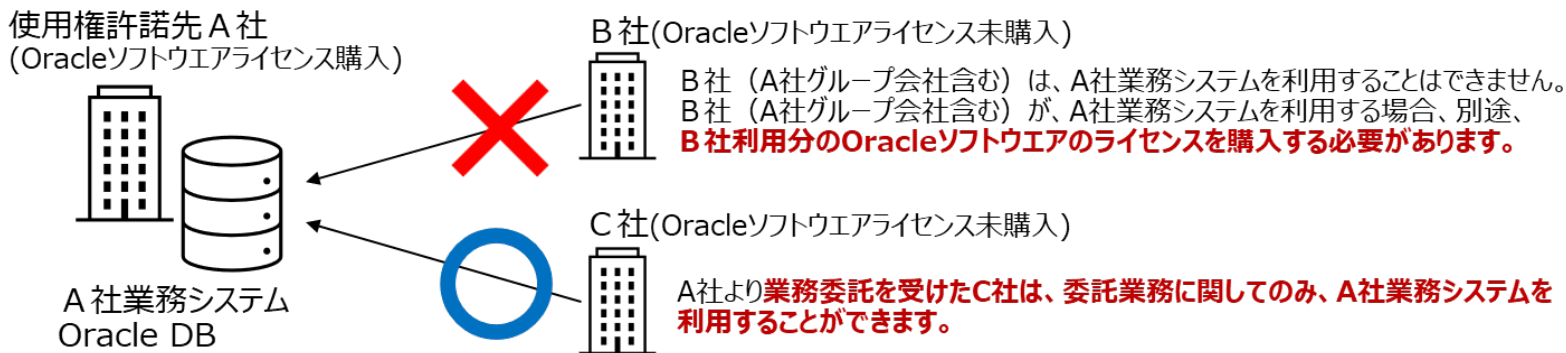
## (5) オラクルライセンスのインストール

- 契約しているライセンス・エディション・オプションをインストールしている
- × 契約していないライセンス・エディション・オプションをインストールしている（有償オプションが自動でインストールされるケースがあります）

## 2. 使用権許諾先以外の第三者利用について

Oracleライセンスは、**使用権許諾先のお客様（法人または団体）の内部業務目的でのみ利用可能です。**  
Oracleライセンスを購入したお客様は、**グループ会社を含む第三者にOracleライセンスを利用させることはできません。**また、**第三者に利用させる場合は、当該第三者分のライセンスを購入する必要があります。**  
**ライセンスを購入せずに、第三者に利用させた場合は、使用権許諾契約に反することになります。**  
**但し、使用権許諾先から業務委託を受けた第三者は、使用権許諾先の内部業務目的での利用は可能です。**

Oracle製品の第三者利用イメージ



【補足】 受託開発によるシステム開発は、**受託元会社（発注者）の内部業務目的とみなされます。**  
よって、**受託元会社（発注者）がライセンスの使用権許諾先**である必要があります。

### 3. 仮想化環境での利用について（1）

オラクル製品は「インストールしている」または「稼働している(する)」環境にライセンスが必要になります。

- **稼働していなくてもインストールされていればライセンスが必要**になります
  - インストールされていなくても**仮想化製品の技術（例えばvMotionやライブマイグレーションなど）で別の仮想環境で稼働する状態であれば、その仮想環境にもライセンスが必要**になる可能性があります
- 但し、有線・無線を問わず、**OSより下のレベルで接続できない**（Vmotionやライブマイグレーションなどで仮想マシンが移動しない）**仮想環境は、ライセンスは不要**です。

オラクルライセンスの仮想化環境での必要ライセンス数の考え方は、以下の2つに分類されます。

分類	代表的な仮想化技術	ライセンスの考え方
Soft Partitioning	VMware、Hyper-Vなど	仮想化環境を構成する全ての物理サーバーでライセンスが必要になります。 Soft Partitioningは、特定のサーバーまたはサーバーのクラスタに必要なソフトウェア・ライセンス数を決定、制限する手段として認められていません。
Hard Partitioning	Physical Domains、 IBM LPARなど	Hard Partitioningの技術を用いて、分割された範囲のライセンスが許諾の対象になります。 特定のサーバーあるいはサーバーのクラスタに要求されるソフトウェア・ライセンス数を制限する手段として認められています。

#### 【詳細】

・Oracle Partitioning Policy（日本語参考訳）

<https://www.oracle.com/jp/a/ocom/docs/partitioning-jp-168078-ja.pdf>

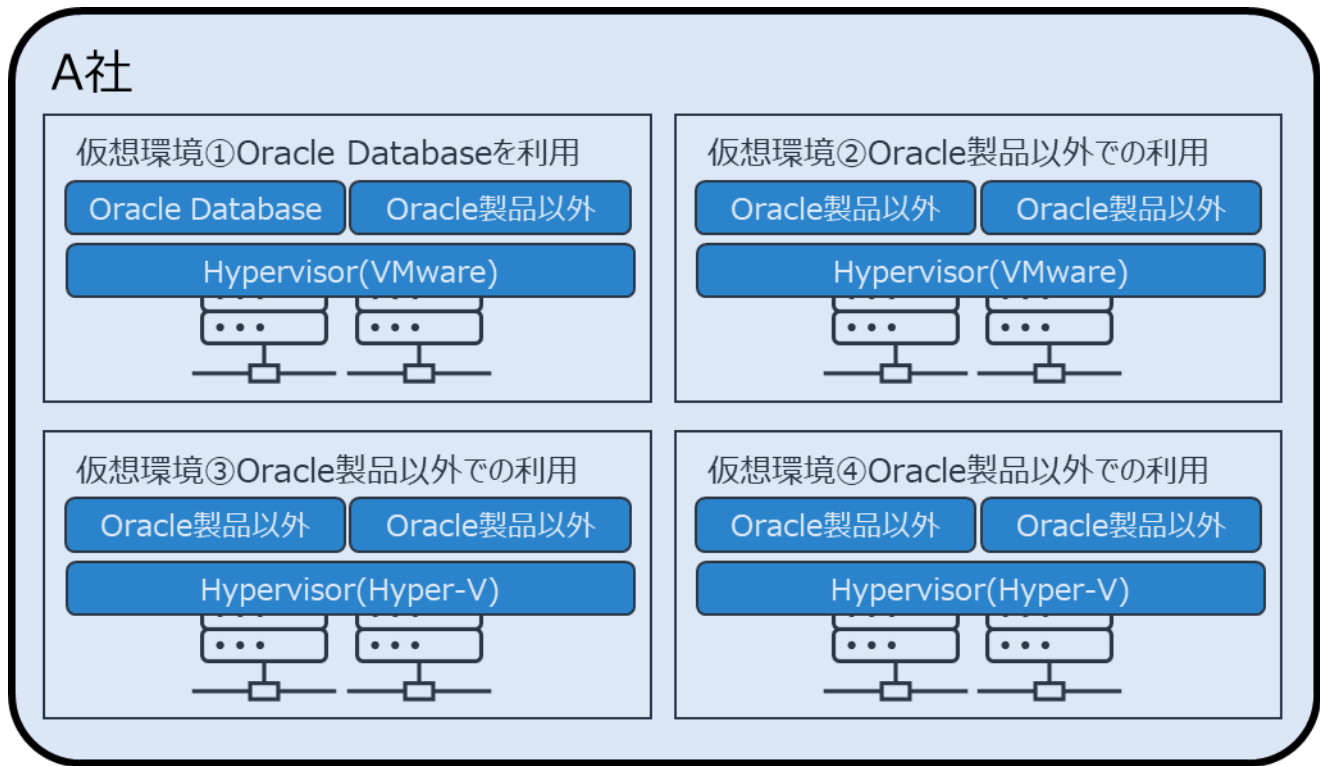
・製品・ライセンス・価格・サポート契約 -FAQ-「複数の物理サーバーによるサーバー仮想化環境を構築した場合のライセンスカウントはどのようになりますか？」

[https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a\\_id/2674/](https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a_id/2674/)

### 3. 仮想化環境での利用について（2）

仮想化環境におけるオラクルライセンスが必要な例

オラクルライセンスの許諾対象（太枠内の全ての仮想環境でライセンスが必要になる可能性があります）





## 4. パブリッククラウドでの利用について（1）

以下、承認されたクラウド環境でのみ利用可能です。

- Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)、Amazon Relational Database Service (RDS)
- Microsoft Azure Platform (Azure)
- Google Cloud Platform (GCP)
- Oracle Cloud Infrastructure (OCI)

上記以外のパブリッククラウドでは、オラクル製品は利用できません。

オラクル製品をご利用になる場合は、仮想環境を利用しない物理サーバでご利用ください。

### 【詳細】

・クラウド・コンピューティング環境におけるOracleソフトウェアのライセンス（日本語参考訳）

<https://www.oracle.com/a/ocom/docs/cloud-lic-170290-ja.pdf>

## 4. パブリッククラウドでの利用について（2）

### AWS・Azure・GCPでのライセンス数の考え方

価格単位	Oracle Database Standard Edition 2 ※最大8vCPUまでの環境に適用可能	Oracle Database Enterprise Edition ※適用可能なvCPU数に上限はありません
Processor	1～4vCPU : 1 Processor 5～8vCPU : 2 Processor	マルチスレッドが <b>有効</b> の場合 2vCPU = 1 Processor マルチスレッドが <b>無効</b> の場合 1vCPU = 1 Processor
Named User Plus	最小ユーザ数 10 Named User Plus	最小ユーザ数 25 Named User Plus / Processor

### OCIでのライセンス数の考え方（oCPUは、AWS/Azure/GCPのvCPUと同じ、OCIの契約単位）

価格単位	Oracle Database Standard Edition 2 ※最大8 oCPUまでの環境に適用可能	Oracle Database Enterprise Edition ※適用可能なoCPU数に上限はありません
Processor	1～4 oCPU : 1 Processor 5～8 oCPU : 2 Processor	2 oCPU = 1 Processor
Named User Plus	最小ユーザ数 10 Named User Plus	最小ユーザ数 25 Named User Plus / Processor

※Oracle Database Standard EditionおよびOracle Standard Edition Oneは、以下URLより詳細ご確認下さい。

【詳細】

・クラウド・コンピューティング環境におけるOracleソフトウェアのライセンス（日本語参考訳）

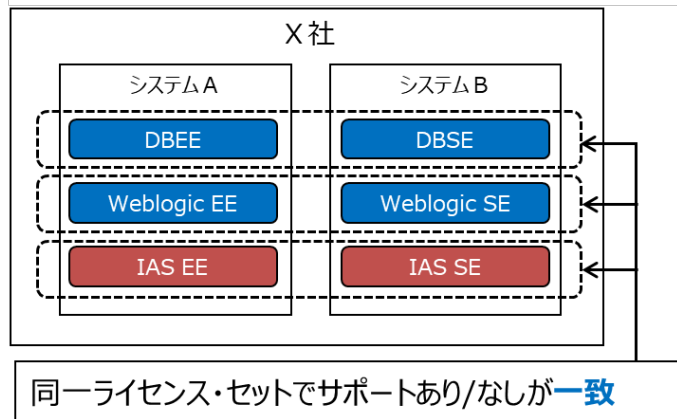
<https://www.oracle.com/a/ocom/docs/cloud-lic-170290-ja.pdf>

## 5. サービス・レベル（保守契約の有無）の統一

### 基本となる考え方

- 製品群とは、Database(DB)/Internet Application Server(IAS)/WebLogic等、同一のソースコードを共有するプログラムにおいて、EE/SE等の各エディションや適用オプションをいいます
- 企業単位 且つ 製品群において、サポート契約の有無（Extended Supportを含む）を統一**させる必要があります

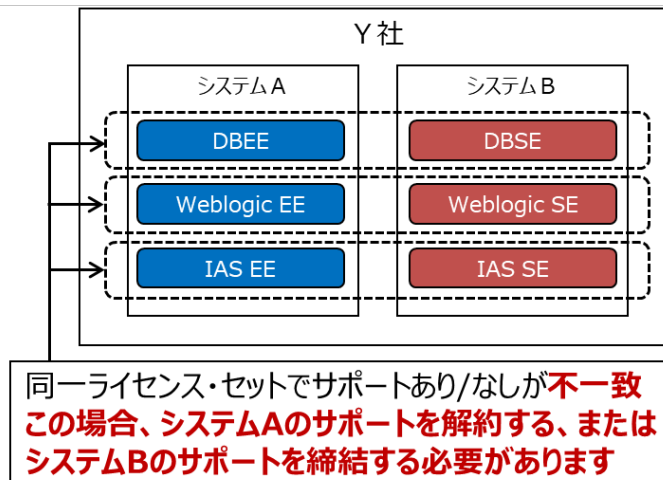
サービス・レベルが統一されている例



凡例

製品名	: サポートあり
製品名	: サポートなし

サービス・レベルが統一されていない例



## 6. オラクルライセンスのインストールについて

オラクル製品のインストール時に、契約と異なるライセンスやオプションがインストールされないように、ご注意ください。

### 事象 1 : 異なるエディション/機能のインストール

Oracle Databaseには、Enterprise EditionとStandard Editionなど異なるエディションがあります。  
Oracle Database Standard Editionを契約しているにも関わらず、インストール時に誤った操作により、Oracle Database Enterprise Editionをインストールしてしまう場合がありますので、ご注意ください。

### 事象 2 : 自動インストールされる有償オプション機能の利用

Oracle Database Enterprise Editionは、Oracle Diagnostics Pack、Oracle Tuning Packが自動インストールされる場合があります。  
自動インストールされたオプション機能を誤って利用しないようにご注意ください。

以下URLの通り、**ライセンスを保有していない機能を誤って使用することを防ぐため、除外または無効化できるオプションは、除外または無効化**してください。

【Oracle Database Enterprise Editionで自動インストールされるオプション製品のライセンスについて】

[https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a\\_id/2652/](https://faq.oracle.co.jp/app/answers/detail/a_id/2652/)

**インストールされているライセンス・エディション・オプションの確認方法、自動インストールオプション無効化の方法は、オラクル製品のバージョンにより異なる場合がありますので、都度、製品サポートにご確認**をお願いいたします。

## 7. 最新のオラクルライセンスの使用条件の確認について

オラクルライセンスは、常に最新のライセンスポリシーが適用されます。  
最新のライセンスポリシーは、以下にて確認できますので、適宜ご確認をお願いいたします。

① <https://www.oracle.com/contracts/software/> にアクセスします



② Countryで「Japan」を選択

③ 「View Contents」をクリックします

Find a document

Select the product, country, or language to view the applicable Oracle software contracts and related documents.

Product: Software, Country: Japan, Language: Japanese

View documents



PDF

Online Transactional Oracle Master Agreement - Oracle Corporation Japan - Japanese - v062223

Download View

最新の使用権許諾条件を確認できます

「Download」をクリックするとOracle Master Agreementをダウンロードできます  
「View」をクリックするとブラウザ上で確認できます



PDF

Oracle License Definitions and Rules Booklet - Japanese - v091524

Oracle's License Definitions and Rules explains the license metrics and rules associated with the software and/or services you purchased.

Download View

その他の利用条件を確認できます

「Download」をクリックするとBookletをダウンロードできます  
「View」をクリックするとブラウザ上で確認できます

## 8. お問い合わせ

Oracle製品および本書に関するお問い合わせは、弊社担当営業までご連絡ください。

また、本書に記載した使用条件と異なる使用がある場合は、ライセンス違反となっている場合がございますので、速やかに弊社までご相談ください。

**お客様ご自身での判断による是正(追加購入等)は、現在までのライセンス違反を解消するものではありません。**

**Oracle社によるライセンス監査は、過去の利用状況まで確認されます。**

**ライセンス違反が確認された場合、お客様ご自身で是正されたとしても、Oracle社が求める是正対応とは異なるケースがあり、追加費用が求められ、結果的に負担増となる場合がございます。**

必ず、弊社担当営業まで、ご連絡をお願いいたします。

担当営業が不明な場合は、以下よりお問い合わせをお願いいたします。

[https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/products/form/?id=oracle\\_solution](https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/products/form/?id=oracle_solution)

- 
- Google Cloud は Google LLC の商標です。
  - 本資料中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

**HITACHI**  
**Inspire the Next**